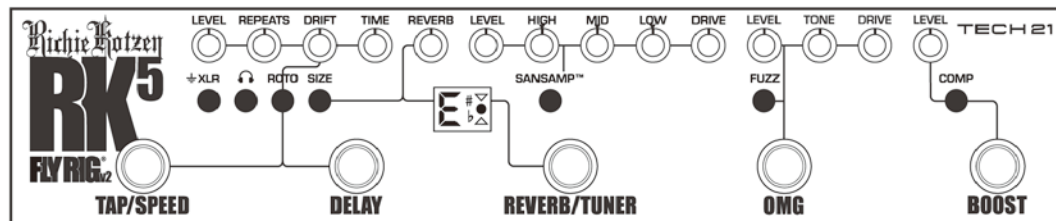


# TECH 21

Richie Kotzen  
**RK5**  
**FLY RIG<sup>v2</sup>**  
TECH 21



## USER GUIDE

### はじめに

この度は TECH 21 製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
本製品の性能を最大限に引き出すためにご使用前にかならず内容をよくお読みください。  
本機は Richie Kotzen のシグネチャーモデルとして設計されました。彼の演奏、歌、作詞作曲そしてトーンのあらゆる面にこだわり抜いているように、RK5 は細部まで彼のこだわりが詰まっています。2014 年のオリジナル RK5 の発売後、Richie 本人の進化に伴い、彼のニーズも進化しました。そのため、我々はいくつかの新機能を組み込み、バージョン 2 を共同で開発しました。タップテンポディレイ、Richie の Signature OMG オーバードライブはそのままだに、新機能として、ルームサイズを選択可能な独立したリバーブ、ロータリースピーカーモード、コンプレッション、ファズ、チューナー、ヘッドフォン出力、XLR 出力を追加。もう 1 つの違いは、SansAmp セクションのオン/オフをフットスイッチからボタンへ変更した点です。SansAmp を Richie は RK5 を使用する際に、予め SansAmp セクションの ON/OFF を決定したあとで、演奏をしていました。つまり彼は ON/OFF のフットスイッチを必要としていませんでした。

## 2 接続

### ギターアンプとの接続：

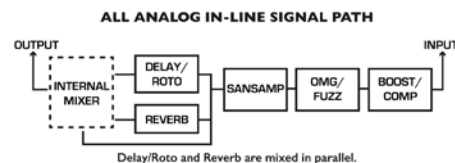
標準のエフェクトペダルと同じように、本機をインラインで接続できます。あなたのアンプのプリアンプが多くの特徴を与えすぎているときは、低レベル入力に接続し、できるだけフラットに設定してください。多くのアンプは明るめの傾向があるため、SansAmp セクションの High を 12 時より下から始めて、調節してください。また、ほとんどの真空管アンプではサチュレーション（飽和状態）になると、ミッドレンジがカットされる傾向があります。それで、HI と LO が最小で、MID が最大の状態で最もフラットなサウンドが達成されることがあります。その状態は決して以上ではなく、この状態から好みに合わせて調節することをお勧めします。また、エフェクトループリターンにプラグインすることもできます（アンプにそれがあつ場合）。これにより、アンプのプリアンプ全体が無効になり、サウンドをより正確に表現できます。

### ダイレクトにレコーディングする：

必要なトーンシェイピングとキャビネットエミュレーションはすべて、ペダルの SansAmp セクションにすでに組み込まれています。本機は、ギターの信号を自動的にローインピーダンスに変換し、通常、ギターの信号を直接入力するさまざまな入力に接続できます。ミキサー（ライブおよびスタジオ）、ワークステーション/レコーダー、さらにはコンピューターのサウンドカードに直接接続することもできます。

## 3 ご使用の前に

### 信号の流れ：



### ユニティゲインのレベル設定：

本機の次に接続されるデバイスに想定よりはるかに高い / 低い出力の信号が送られることを防ぐためにペダルがアクティブかバイパスかに関わらず、スピーカー / モニターから同じ音量になるようにレベルコントロールを設定します。  
RK5 を直接 PA に接続するときは、最良の S / N 比を得るために SansAmp レベルをかなり高く設定し、その他すべてのコントロールを 12 時の位置に設定してください。

### DELAY セクションのクリップインジケーター：

DELAY セクションの LEVEL コントロールにはクリップクリップインジケーターが組み込まれています。回路が過負荷になると、DELAY セクションの LEVEL コントロールが赤く点滅して警告します。強めのピッキング時の瞬間的な点滅（ピーク）は問題ありませんが、継続的に点灯する場合は、対応するコントロールを調節してください。

## 3 ご使用の前に

### レベルコントロールの関係：

入力から出力への信号の流れは右から左です。したがって、[Boost]、[OM セクション]、[SansAmp セクション]の順に並んでいます。信号経路の「最後の」LEVEL コントロールが全体の出力レベルを決定します。たとえば、OMG セクションと SansAmp セクションが ON になっている場合、SansAmp セクションの LEVEL コントロールによってユニットの全体的な出力レベルが決まります。Boost と OMG セクションのみが作動している場合、OMG セクションの LEVEL コントロールがユニットの全体的な出力レベルを決定します。DELAY セクションの Level コントロールはディレイのミックスレベルにのみ影響し、全体の出力レベルには影響しません。

## 4 入力と出力

### 1/4" フォン INPUT：



1MΩのインストゥルメントレベル。Input への信号レベルは標準のエレキギターと同様のレベル（約 -10dBm / 250mV）を想定しています。真空管アンプと同じ感度と負荷特性で設計されています。

**注意：絶対にアンプのスピーカー・アウトから本機の入力に直接接続しないで下さい。アンプや本機が故障する恐れがあります。**

### 1/4" フォンユニバーサル OUTPUT：

アンバランス 1kΩローインピーダンスインストゥルメントレベル。この出力は、ハイインピーダンスのギターアンプ（またはエフェクト）とローインピーダンスのミキサーおよびコンピューターの入力に接続できます。ペダルがバイパスモードのとき、出力レベルはユニティゲインです。また、バイパス中も長いケーブルでも信号を損なうことはありません。

### BALANCED XLR OUTPUT & GROUND CONNECT スイッチ ( )：

バランスド XLR ローインピーダンスアウトプットです。GROUND CONNECT スイッチを ON にする (  ) とグラウンドが接続されます。また、このスイッチを OFF にする (  ) と本機のグラウンドはカットされた状態になり、接続されているミキサー等のグラウンドに接続されていない状態になります。

## 5 BOOST&COMP セクション

### BOOST：

ソロ用の独立したプリブースター。最大約 12dB ブーストします。

### COMP スイッチ：

50 年代から 60 年代ごろのコンプレッサーを再現した、暖かく、クリアで、音楽的なコンプレッションを演出します。

### LEVEL：

ブーストセクションの出力レベルを調節します。

## 6 OMG セクション

Richie Kotzen Signature OMG ペダルをベースにしたこのセクションは、クリーンからアグレッシブまで、幅広いオーバードライブを提供します。クリーンアンプに個性を追加したり、歪んだアンプのトーンとさらなるパンチを演出出来ます。

### DRIVE：

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調節します。ペダルの設定を変更しなくても、ギターの音量を下げて（極端な設定を除く）、歪みの量を調整できます。逆に、ギターの音量を上げるだけで歪み量を増やすことができます。

### LEVEL：

OMG セクションの出力レベルを調節します。

### FUZZ スイッチ：

オーバードライブのキャラクターとアタックを抑え、太くすることで、ファズスタイルのトーンに変更します。

### FUZZ スイッチ：

オーバードライブのキャラクターとアタックを抑え、太くすることで、ファズスタイルのトーンに変更します。

OMG セクションはエフェクターとして設計され、スピーカーエミュレーションは回路に組み込まれていません。また、ミキサーや PA に直接接続して使用するようには設計されていません。

## 7 SANSAMP セクション

レコーディングデスクや PA システムのミキサーに直接接続し、SansAmp テクノロジーを使って強化することができます。直接録音したり、以前に録音したトラックを強化するのにも使用できます。SansAmp セクションでは、真空管アンプのサクリートーンを主にシミュレーションしています。歪みを演出するには、Drive コントロール、Boost 機能を使用するか、または OMG セクションからオーバードライブ、または 3 つすべてを追加してください。

NOTE：Richie は、直接ミキサーに接続しているときは SansAmp セクションをオンのままにし、アンプを使用しているときはオフにします。

### DRIVE：

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調節します。回転の前半では、音量とオーバードライブが増加し、その後はオーバードライブ量が増加します。

### LOW, MID, HIGH：

スタジオミキシングボードのように、完全な EQ コントロールが可能です。カットするだけのパッシブトーンコントロールとは異なり、これらのアクティブコントロールは 12 時をフラットとしてカット、ブーストします。

LOW は 120 Hz で ±12 dB

MID は 500 Hz で ±12 dB

HIGH は 3.3kHz で ±12 dB に設定されています。

### LEVEL：

SansAmp セクションがオンになっているとき、セクションの出力レベルを調節します。さまざまな機器との最大限の互換性を保つために非常に広い範囲を備えています。

**RK5 を直接 PA に接続するときは、最良の S / N 比を得るために SansAmp レベルをかなり高く設定し、その他すべてのコントロールを 12 時の位置に設定してください。**

## 7 REVERB & DELAY セクション

### REVERB :

リバーブの量を調節します。

### REVERB/TUNER フットスイッチ :

短く踏み込むと REVERB を ON/OFF 出来ます。2 秒以上踏み続ける (長押し) すると TUNER を ON/OFF 出来ます。

### SIZE スイッチ :

ルームサイズを変更します。  
(■) で小さい部屋、(■) で大きな部屋。

### DELAY フットスイッチ :

ビンテージテープエコーのような暖かなディレイを ON/OFF します。

### TIME :

ディレイタイムを設定します。連続可変コントロールで、28 ミリ秒から 1000 ミリ秒まで想いのままに設定可能です。12 時の位置では約 300 ミリ秒です。演奏中にこのノブを回すと、ビンテージアナログディレイのように、ギターのピッチが変化します。

### DRIFT:

ディレイ信号の変調にランダムで予測不可能な要素を追加します。これはビンテージのテープエコーの特徴を再現します。7 時の位置では、変化はありません。最大にすると、ピッチが急激に変化することがあります。これは特殊効果に使用できます。

### REPEATS:

ディレイの反復回数を調節します。7 時の位置で 1 回、設定を大きくすると、それに応じて繰り返しは無限になるまで続きます。最大に設定すると発振します。

### REPEATS 設定のヒント:

アンプのフロントインプットで DLA を使用すると、アンプは信号を圧縮し、繰り返しはより顕著になります。そのため、エフェクトループで実行するときよりも設定を低くする必要があります。たとえば、エフェクトループでの「REPEATS」10 時の設定では、3 回繰り返します。ただし、アンプのフロントインプットにつないだ場合、8 時の設定で同じ結果が得られます。

### LEVEL:

REVERB&DELAY セクションの出力レベルを調整します。クリップインジケーターとしても機能します (4. ご使用の前にをご参照ください)。

### TAP TEMPO:

TAP スイッチを演奏中にタップするだけでディレイテンポを設定できます。Tap Tempo は TIME 設定を無効にします (逆に TIME ノブを回すと TAPTEMPO は無効になります)。この機能はバイパスでも機能しますので、事前に設定できます。タップテンポを変化させても、ギターのピッチは変わりません。

### ROTO:

DELAY の TAPTEMPO DRIFT コントロールをロータリースピーカーシュミレーターのコントロールに変更します。ROTO モードになると DRIFT ノブのカラーが青から紫に変わります。ROTO モードでは LEVEL、REPEATS、TIME のコントロールは無効になります。

### ROTO モード時の TAP TEMPO:

TAPTEMPO でスピードを遅い状態から早く変更した際、本物のロータリースピーカーのようにゆっくりと速度を上げます。

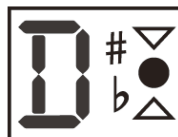
## 7 REVERB & DELAY セクション

### ROTO モード時の DRIFT:

ロータリースピーカーまでの仮想マイクの距離をコントロールします。最小時は変化はありません。最大でトーンモジュレーションと同期してボリュームをモジュレートすることでトレモロのような効果を追加します。

## 8 その他の機能

### クロマチックチューナー:



REVERB/TUNER スイッチを 2 秒以上踏み続けることでクロマチックチューナーが起動し、入力信号をミュート、チューナーウィンドウの LED が点灯します。緑色のランプが点灯している場合は、チューニングが合っています。赤い矢印が出た場合は上向き矢印 = フラットしています。ピッチを上げてください。下向き矢印 = シャープしています。ピッチを下げてください。目的の音に近づくと、矢印は速く点滅し、チューニングが合うと消えます。その後緑色のランプが点灯しチューニング完了です。フットスイッチを短く一度踏むとチューナーは OFF になります。

### ヘッドフォンスイッチ (🎧):

1/4" 出力端子がヘッドフォン用出力に替わります。音量が上がり、ヘッドフォンの左右ともに聴こえるようになります。

注意: ミキサーやアンプの入力に接続する場合は、この機能を解除してください。

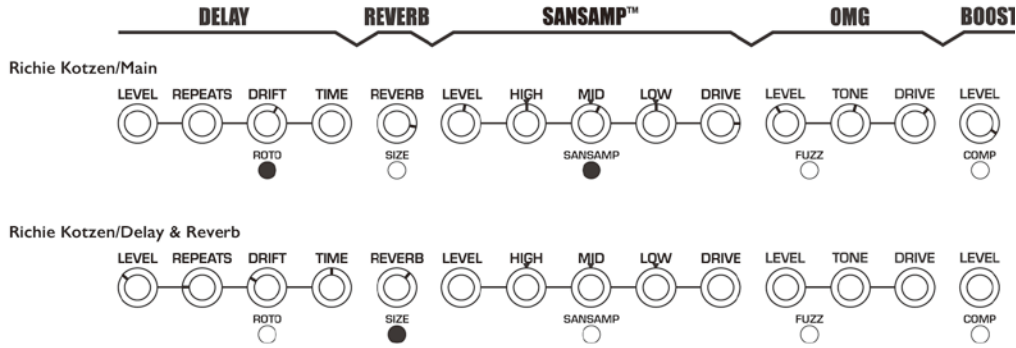
## 9 使用上の注意

- ◆ ミキサーやアンプに直接接続する場合は、ヘッドフォンスイッチをオフにするのを忘れないでください。信号がクリップされる可能性があります。
- ◆ 本機のコントロールは緻密なセッティングを可能にするため細かく設定されています。最大の効果を求める場合にも、すべてを最大に設定する必要はありません。例えばサウンドを明るくしたい時は、HI を上げるのではなく、LOW を下げてください。
- ◆ 本機のノイズレベルは非常に低く設計されていますが、入力ソースから発生するノイズを増幅する可能性があります。本機のコントロールは異常に敏感であり、高レベルの出力を出すために最大レベルの入力を必要としません。本機に入るノイズを最小限に抑えるために、エフェクターは、トーンコントロールをフラットに設定してください。もしブーストする必要があるならば、ゆっくりと控えめに設定してください。シングルコイルピックアップはノイズを生成する可能性が高くなります。しっかりとノイズ対策を行ってください。
- ◆ 演奏テクニックのダイナミクスとニュアンスに対する高い反応性を損なわないために通常、本体を本機に直接接続してください。  
その他エフェクトを使用する際は一般的な使用方法として、  
本機の前: フェイザー/バイブ、オーバードライブ、ワウ等  
本機の後: ディレイ、EQ、フランジャー、フェイザー (後もおすすめです)、ピッチシフター、リバーブ等  
をおすすめしますが、お好みに合わせて配置してください。
- ◆ バッファードバイパスは、「トウルーバイパス」のポップとクリック、および複数のペダルを接続したときの高音痩せなどの欠点や、スイッチング回路や長いケーブルによる信号のロスを軽減します。

# 10 サンプルセッティング

ON (IN) ● OFF (OUT) ○ NOTE: When there are no knob indicators present, that function or section is not engaged.

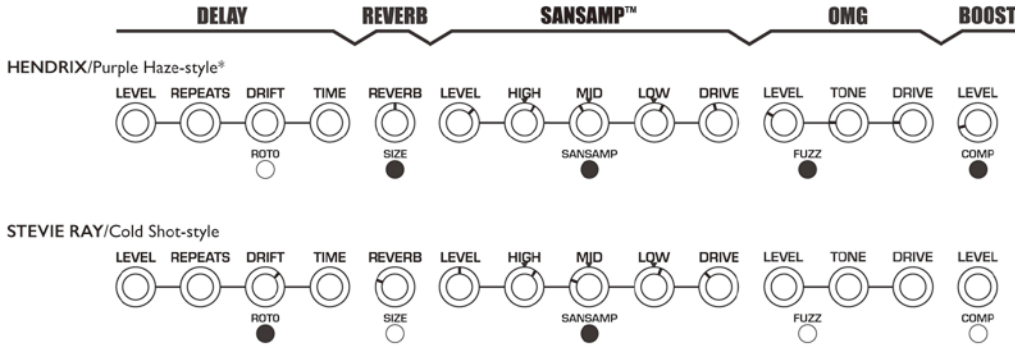
## SAMPLE SETTINGS



Note: Richie uses two RK5s when performing live. SansAmp settings will vary depending on the amp provided and room dynamics.

ON (IN) ● OFF (OUT) ○ NOTE: When there are no knob indicators present, that function or section is not engaged.

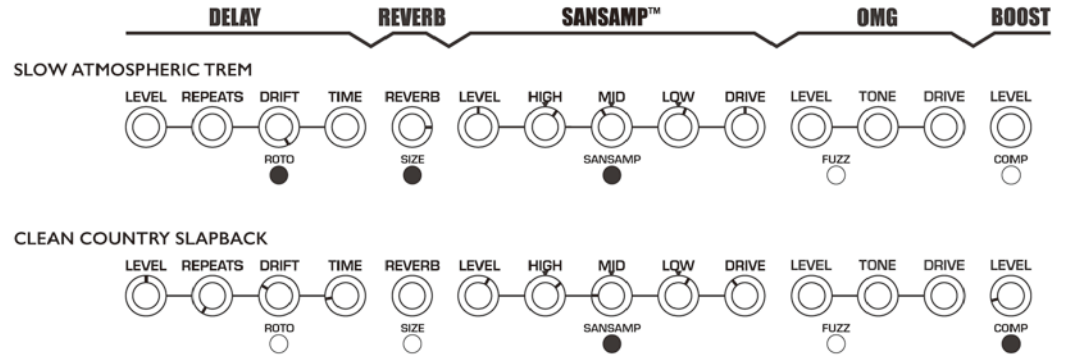
## SAMPLE SETTINGS



\*Add Roto on slow, if desired.

ON (IN) ● OFF (OUT) ○ NOTE: When there are no knob indicators present, that function or section is not engaged.

## SAMPLE SETTINGS



Names of sample settings are intended for descriptive purposes only and should not be construed as an endorsement or affiliation with the artists or songs named, except, of course, Richie Kotzen.

ON (IN) ● OFF (OUT) ○

## CUSTOM SETTINGS

